

CONTENTS

Chapter 01 グループ概要

- At a Glance 3
- 東亜合成グループの企業理念体系 4
- 東亜合成グループの概要 6
- 社会を支える東亜合成グループの製品 8
- 東亜合成グループ 価値創造の軌跡 10

Chapter 02 価値創造ストーリー

- トップメッセージ 12
- 価値創造フロー 16

Chapter 03 価値創造戦略

- 東亜合成グループのマテリアリティ 18
- 2025年中期経営計画
 - 中期経営計画(2023~2025年)の目指す姿 19
 - 中期経営計画の進捗状況 20
- 副社長メッセージ 22
- 財務・資本戦略 24
 - 財務・資本戦略担当取締役メッセージ 26
- 研究開発(イノベーション)戦略
 - 成長戦略を支える研究開発 28
 - 社外取締役メッセージ 31
 - 川崎フロンティアエンスR&Dセンターの設立 32
 - 研究開発事例 34
- At a Glance 35
- 基幹化学品事業 36
- ポリマー・オリゴマー事業 38
- 接着材料事業 40
- 高機能材料事業 42
- 樹脂加工製品事業 44

Chapter 04 価値創造を支える基盤

- サステナビリティマネジメント
 - サステナビリティ事業 46
 - サステナビリティマネジメント 47
- サステナビリティ経営
 - レスポンシブル・ケア(RC)マネジメント 50
 - 人的資本 56
 - 社会貢献・地域コミュニケーションの充実 62
- コーポレート・ガバナンス 63
 - リスクマネジメント 69
 - コンプライアンス 70
- 役員紹介 72
- 新任 社外取締役メッセージ 74

Chapter 05 主要データ

- 財務データハイライト 76
- 非財務データハイライト 78

編集方針

本報告書は、ステークホルダーの皆様へ企業価値向上のための取組みをわかりやすくお伝えするために作成しています。編集にあたっては、持続的成長に向けた経営の方向性や事業戦略などに加え、社会課題への対応などの非財務情報を含めて報告しています。なお、当社ウェブサイトにも情報を公開しています。

PDCA表の達成状況欄について

- ★★★：目標達成
- ★★：進捗遅れがあり一部未達(目標の80%以上)
- ★：目標未達(目標の80%未満)

報告対象組織

本報告書の記事は、東亜合成グループ(東亜合成株式会社および連結子会社)を対象としています。ただし、報告データによっては集計範囲が異なる場合がございますので、その場合はそれぞれの報告対象範囲を記載します。

参考にしたガイドライン

- IFRS財団「国際統合報告フレームワーク」
- 経済産業省「価値協創ガイダンス2.0」
- GRI「サステナビリティ・レポート・スタンダード」
- TCFD提言

発行時期

2024年6月 次回:2025年6月(予定)

対象期間

2023年1月1日~2023年12月31日
※一部、2024年1月以降の活動についても報告しています。

本報告書の内容に関するご意見、ご質問などがございましたら、下記までご連絡願います。

東亜合成株式会社
コーポレートコミュニケーション部
〒105-8419 東京都港区西新橋一丁目14番1号
TEL:03(3597)7215 / FAX:03(3597)7217

東亜合成ウェブサイト
<https://www.toagosei.co.jp/>



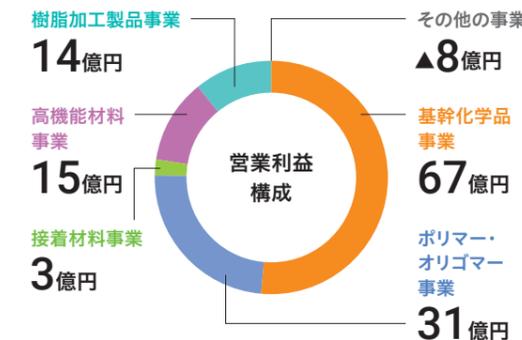
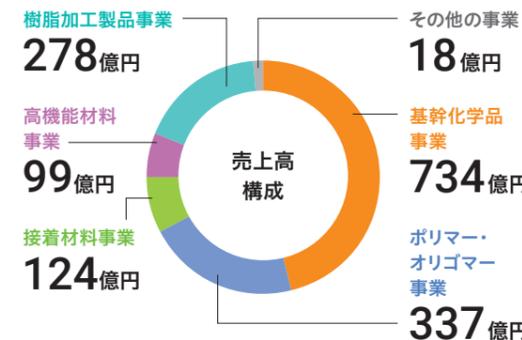
At a Glance ー東亜合成が80年間で培ってきたチカラー

1944年の創立以来、独創性を受け継ぎ、人々の暮らしや産業、社会に貢献する様々な製品を生み出してきました。これからも、化学のチカラで、健やかで豊かな社会の創造を目指し事業を展開していきます。



※1 国内拠点は当社単体の拠点数であり、川崎フロンティアエンスR&Dセンター(2024年夏に開所予定)を含む。
※2 グローバル拠点は当社グループの拠点数であり、Toagosei Vietnam Co., Ltd.(2024年5月設立)を含む。
※1、※2以外は2023年12月期の実績値。

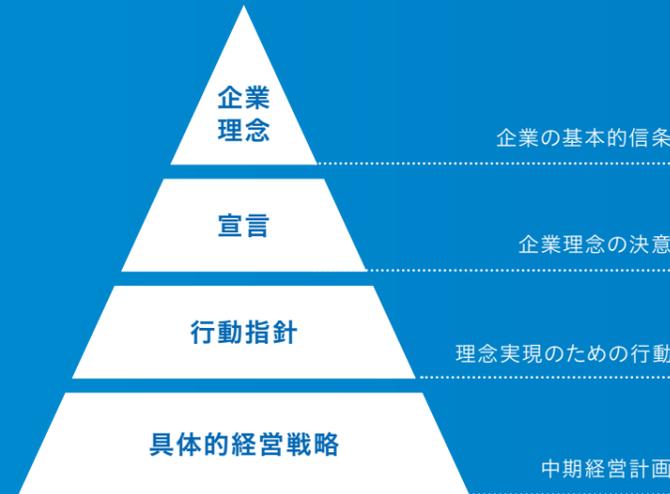
収益構造(2023年実績・事業セグメント別)



東亜合成グループの企業理念体系

● 企業理念

素材と機能の
可能性を追求し、
化学の力で
新しい幸せを
あなたへ届けます。



● 宣言

私たちが届けていくもの。

それは高機能な素材が創り出す社会の新しい可能性、
人々のこれからの幸せ。

私たちは、挑み続ける。

築いてきた技術を活かし、新しい領域に向き合い、
自分たちにしか創れない確かな価値を生み出すために。

私たちは、動き続ける。

あなたと共に生きる企業として様々な変化を読み解き、
化学で社会をリードしていく存在になるために。

● 行動指針

先見 未来を思い描き、
優れたキーマテリアルを創り出す。

挑戦 強い意志と自由な発想で、
可能性を切り拓く。

連携 顧客やパートナーと共に、
新たなビジネスを生み出す。

行動憲章

1. 使命

私たちは、快適な生活環境作りに貢献する、社会的に有用で安全な製品、サービスを開発、提供し、持続可能な社会の発展に貢献する。

2. 人権の尊重

私たちは、すべての人々の人権を尊重する。

3. 規範の遵守

私たちは、国内外の法令やその精神、社内規程を遵守し、高い倫理観と良識、責任をもって行動する。政治、行政とは健全な関係を保ち、取引先との関係において適正な商習慣に従い、公正で自由な競争を行う。

4. コミュニケーション

私たちは、社会に必要な情報を分かりやすく適時に開示するとともに、すべてのステークホルダーと建設的な対話を行い信頼関係の維持、発展に努める。

5. 国際社会との共生

私たちは、国際社会の一員として、その国の法令を遵守するとともに、文化、慣習を尊重し、現地の持続的発展に貢献する。

6. 反社会的勢力との対決

私たちは、市民社会の秩序や安全に脅威を与えるいかなる反社会的勢力、団体とは断固として対決する。

7. 社会貢献

私たちは、グローバルな視野をもち、良き企業市民として立地する国、地域社会に密着した貢献を積極的に進める。

8. 環境との調和

私たちは、社会全体が持続的に発展するため、環境問題に自主的、積極的に取り組む。

9. 職場環境

私たちは、従業員の多様性、人格、個性を尊重し、能力を最大限発揮できる働き方を実現する。また、従業員のゆとりと豊かさを実現し、安全で動きやすい職場環境の形成に努める。

10. 危機管理

私たちは、企業活動を行う上で想定される危機事態に備え、組織的な危機管理体制を整備する。危機事態が発生した場合は、社内規程に基づいて行動し、被害を最小限にとどめることができるように努める。

11. 本憲章の実現

経営者は、本憲章の実現が自らの役割であることを認識し、実効あるガバナンス体制の整備を行い、グループ全体に企業倫理の徹底を図る。本憲章に反する事態が発生したときには、社会にも十分理解される形で、事態解決、原因究明、再発防止に努める。



地球はつづく、
化学でつなぐ!

コーポレートスローガン

多彩な分野で化学がますます不可欠になり、化学の力で地球の持続可能な発展に貢献し、人類の幸せに寄与できるという想いを込めました。

スローガンロゴ

コーポレートスローガン「地球はつづく、化学でつなぐ!」を、無限を表すインフィニティマーク(左側は地球、右側は化学構造式をイメージ)で表現しました。コーポレートカラーの青と緑を基調にし、明るく爽やかな印象にしています。



シンボルマークについて

TOAの「T」とGOSEIの「G」をモチーフにしました。特に「T」を強調することによって「TRUST(信頼)」と「TECHNOLOGY(技術)」を表現。信頼と技術を基盤に、豊かな想像力を発揮していこうという当社の姿勢を象徴化しました。また「T」のエレメントは「力」、「G」のループは「感性」、3つの円はそれらの融合が生み出す新しい可能性を表しています。

東亜合成グループの概要

当社は1944年(昭和19年)7月17日の創立以来、わが国の化学産業の発展とともに成長し続けてきました。当社グループは、基幹化学品、ポリマー・オリゴマー、接着材料、高機能材料、樹脂加工製品の事業領域で、独自の強みを発揮し、技術と製品の領域を拡大しています。

会社概要	創 立	1944年7月17日	主要な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ● 基幹化学品事業 ● ポリマー・オリゴマー事業 ● 接着材料事業 ● 高機能材料事業 ● 樹脂加工製品事業 ● その他の事業
	本 社 所 在 地	東京都港区西新橋一丁目14番1号	
	代表取締役社長	高村 美己志	
	資 本 金	20,886百万円	
	従 業 員 数	2,554名(連結)(2023年12月31日現在)	
	決 算 日	12月31日	
	上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場	
	証 券 コ ー ド	4045	



JAPAN

東亜合成株式会社

本社／大阪支店／名古屋支店
 四国営業所／福岡営業所
 名古屋工場／横浜工場
 高岡工場／徳島工場／坂出工場
 大分工場／川崎工場／広野工場
 名古屋クリエイシオR&Dセンター／
 先端科学研究所／高岡創造ラボ
 東京テクノ・ラボ

※川崎フロンティエンスR&Dセンターが
 2024年夏に開所予定(p32)。



ASIA

シンガポール

● Toagosei Singapore Pte Ltd.

タイ

● Toagosei(Thailand) Co., Ltd.
 ● Aronkasei(Thailand) Co., Ltd.

台湾

● 台湾東亜合成股份有限公司
 ● 東昌化学股份有限公司

中国

● Toagosei Hong Kong Limited
 ● 東亜合成(珠海)有限公司
 ● 東亜合成(張家港)新科技有限公司
 ● 東亜合成(上海)企業管理有限公司

韓国

● 東亜合成 KOREA 株式会社

ベトナム

● Toagosei Vietnam Co., Ltd.
 ※2024年5月設立

AMERICA

アメリカ

● Toagosei America Inc.
 ● Elmer's & Toagosei Co.



トウアゴウセイ・アメリカ

主な関係会社

- 東亜テクノガス株式会社
- MTエチレンカーボネート株式会社
- MTアクアポリマー株式会社
- アロン包装株式会社
- アロン化成株式会社
- 東亜建築株式会社
- 株式会社TGコーポレーション
- 東亜ビジネスアソシエ株式会社
- 東亜興業株式会社
- 東亜物流株式会社



アロン化成ものづくりセンター

社会を支える東亜合成グループの製品

毎日の生活に様々な当社グループの製品が使用されており、快適な生活や環境保全に貢献しています。

成長戦略の中核を担う事業



ポリマー・オリゴマー

p38

▶ ポリマー

アクリルポリマー

分散や増粘など多彩な機能を有する製品を取り揃え、医薬・化粧品やトイレタリー製品など様々な分野で使用されています。



高分子凝集剤「アロンフロック」

汚水処理用の薬剤で、下水処理場はもちろん、製紙、食品加工といった工場排水の分野でも幅広く使用されています。



▶ オリゴマー

光硬化型樹脂「アロニックス」

塗料やインキ、接着剤から電子材料まで、様々な分野で使用されています。有機溶剤を使用しない、環境に配慮した製品です。



接着材料

p40

瞬間接着剤「アロンアルファ」

幅広い品揃えでお客様の多様なニーズにお応えする瞬間接着剤のトップブランドです。有機溶剤を含まない、環境に配慮した接着剤です。



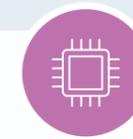
機能性接着剤

産業用として反応型、ホットメルト型、光硬化型など各種接着剤を幅広く取り揃えています。自動車部材や電子部材の組立てなどで幅広く使用されています。



低誘電性ボンディングフィルム

フィルムタイプの変性エポキシ系接着剤で優れた誘電特性をもち、5Gに対応した大容量高速通信の機材で使用されます。

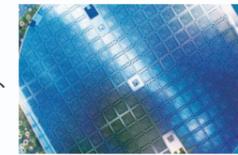


高機能材料

p42

高純度無機化学品

シリコンウエハーのエピタキシャル層形成や半導体製造に使われる液化塩化水素など、半導体の先端分野において不可欠な製品です。



無機系消臭剤「ケスモン」

トイレタリー、衣類、自動車内など多様なシーンで使用されています。化学反応により臭い成分を吸着するため、悪臭を再放出しません。



セルロースナノファイバー「アロンフィプロ」

当社は独自の製法で容易にナノ化可能な酸化セルロースを開発しました。脱炭素化社会の実現に貢献する素材として注目されています。



樹脂加工製品

p44

介護用品「安寿」

高齢化社会に対応し、介護の現場や日常生活に適した製品開発を行い、豊かで快適な暮らしの実現に貢献しています。



ペットサポート用品「OneAid」

加齢により身体機能が低下した高齢ペットの暮らしを支える製品開発を行い、ペット介護に携わる方々の負担軽減に貢献しています。



エラストマー

ゴムに近い弾性をもち、汎用プラスチック並みの容易さで成形できる素材の特徴から、自動車用シール材などに使用されています。



基幹化学品

p36

カセイソーダ

産業における基礎的な原材料として、化学繊維、紙・パルプ、化学薬品など様々な用途に幅広く使用されています。



次亜塩素酸ソーダ

上下水道やプールの滅菌などに使用され、不純物である塩素酸や臭素酸を抑えた製品で安心・安全な水の提供を支えています。



アクリルモノマー

アクリル酸は吸水性樹脂や凝集剤に、アクリル酸エステルはテープなどの粘着剤や塗料基材として使用されています。



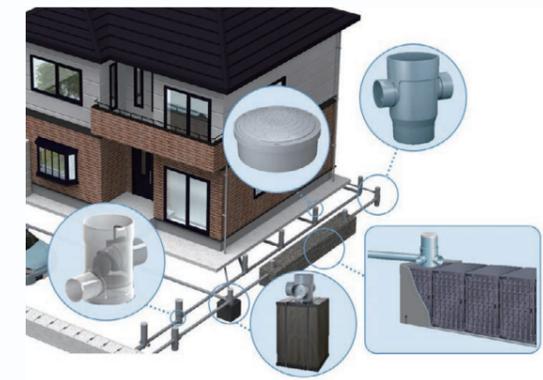
工業用ガス

酸素、窒素、アルゴンなど多種にわたる産業ガスを取り扱っています。これらの製品は、鉄鋼、化学工業などの基幹産業から半導体製造や医療分野などの先端産業まで幅広いニーズに対応しています。



インフラ製品・システム

街のあらゆる施設の排水に効果的な管路システムを提案し、暮らしを支えるライフライン構築に貢献しています。



東亜合成グループ 価値創造の軌跡

当社グループは社会がめまぐるしく変化する中で、必要とされる価値を化学の力で創造してきました。時代のニーズに合わせた製品を提供することで、確固たる技術力と製品への信頼を培っています。これらを価値創造の基盤として、これからも社会の期待に応える新製品・新技術を開発し、企業価値の向上に努めていきます。

1910年～

1960年～

1970年～

第1期

第2期

第3期

第4期

基礎化学製品 発展期

産業の基礎素材となる電解製品や食糧増産のための肥料が化学工業の主流を占める中、基礎化学製品を主力に事業を展開しました。

価値創造
POINT

戦後復興の基礎となる製品の供給
基礎化学製品の安定供給

主力製品

カセイソーダ、塩酸、
次亜塩素酸ソーダ



電解工場

カセイソーダの船出荷(当時)



名古屋工場(当時)

石油化学製品 発展期

電解製品に加え、アクリル酸エステル、塩化ビニル樹脂、塩素系有機溶剤など、石油化学製品の事業展開を進めました。

価値創造
POINT

高度成長期に合わせた原材料の供給
汎用石油化学製品の生産開始

主力製品

アクリル酸メチルエステル、
アクリル酸エチルエステル



アクリル酸エステル製造設備(当時)

アクリル酸製造設備



徳島工場(当時)

機能製品 発展期

石油危機による大量生産品の不振などの難局を乗り越え、景気変動に左右されにくい企業体質をつくり出すべく、独自の技術を生かした機能製品を主力製品として育成しました。

価値創造
POINT

汎用製品から高機能製品への進出
アメリカを皮切りに海外進出

主力製品

アロンアルファ、アクリルポリマー、
アロニックス、無機抗菌剤



アロニックス製造設備

家庭用アロンアルファ



先端科学研究所

ESG / SDGsの時代に ふさわしい第4の柱となる 製品群の開発

価値創造
POINT

高付加価値製品事業の拡大
新ビジネスユニットの創出

主力製品

半導体・電子材料、モビリティ、メディカルケア関連製品、
セルロースナノファイバー



半導体製造用薬剤

リチウムイオン電池用ポリマー工場



川崎フロンティアR&Dセンター

※2024年夏に開所予定。